

最近、面白い写真が撮れました。なぜか角砂糖が好きなヒヨコがいて、それをつつこうとしている一瞬の写真です。なかなか撮れない写真だと思います。しかし、私はヒヨコを飼っていないし、家に角砂糖也没有ありません。実はこの写真、生成AIが創り出した画像なのです。

昨今、その有用性や弊害がマスコミでも話題になっているのが生成AIです。「生成AI」というのは「生成的人工知能」のことです。その代表的なものの一つに「ChatGPT (Chat Generative Pre-trained Transformer)」があります。弊害はともかく、どんな機能があり、どの程度役立つのか自分で確かめてみるのが一番です。

ChatGPTには無料版3.5と有料版4.0があるのですが、有料版のほうは申し込みが殺到していて、ここ数か月アップグレードができませんでした。しかし先週やっと購入できたので、ちょっと試してみたのです。

ChatGPTはテキスト(文書)の生成に特化したAIですが、有料版では画像生成もしてくれます。そこで、ちょっとあり得ないような画像を生成させてみました。「ヒヨコが角砂糖を食べようとしている画像を生成」と命令すると、すぐにこの画像を生成してきました。待つこと20秒たらずです。驚異・・・いや脅威としか言えません。ほかにもいろいろ試してみたので、また紹介したいと思います。

